

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

| | |
|------------|---------|
| 総合工学システム学科 | 系・コース |
| | エネルギー機械 |
| 職階 | 氏名 |
| 准教授 | 大谷壮介 |

| 項目 | 取組状況 |
|-----|--|
| 教 育 | <p>令和5年度担当科目</p> <p>水循環工学Ⅰ(3C)、水循環工学Ⅱ(4C)、水・土質環境実験(4C)、環境衛生工学(5C)、水環境工学(専攻科2年)、基礎研究(4C)、卒業研究(5C)、工学特別ゼミナールⅠ(専攻科1年)、工学基礎研究(専攻科1年)</p> <p>担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <p>講義科目では单元ごとに小テストを実施して、授業の復習を行うようにした。授業中に学生を指名して答えていく形式にして、緊張感を持って自分の言葉で発表するように促した。</p> |
| 研 究 | <p>学術論文執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Sosuke Otani, Kazuyuki Higashi, Kengo Kurata, Yasunori Kozuki (2023) : Estimating the amount of food ingested by the ocypodid crab <i>Macrophthalmus japonicus</i> via feeding pellets, Estuarine, Coastal and Shelf Science, 285, 108299. ● 大谷壮介, 中西敬, 斉藤祐一, 上月康則 (2023) : 都市運河に造成された人工干潟に飛来する鳥類の分布特性の定量的評価, 土木学会論文集, Vol. 79, No. 18, 23-18098. ● 大谷壮介, 東和之, 上月康則 (2023) : 大阪湾の都市沿岸部における干潟堆積有機物の分解特性, 土木学会論文集, Vol. 79, No. 18, 23-18104. ● 大谷壮介, 中西美桜, 中西敬, 斉藤祐一, 上月康則 (2023) : 兵庫運河の海面の二酸化炭素フラックスと一次生産者による炭素固定, Vol. 79, No. 17, 23-17146. ● 大谷壮介, 山里輝 (2023) : 汽水域湿地帯における連続観測による大気と水面の二酸化炭素フラックスの変動特性, Vol. 79, No. 17, 23-17147. |

| | |
|------|---|
| 社会貢献 | <ul style="list-style-type: none">● 国土交通省近畿地方整備局神戸港湾技術調査事務所 近畿管内における中長期での環境再生に関する技術検討委員会委員● 土木学会海岸工学委員会沿岸域における気候変動適応策に関する研究会（気候変動研究会）委員兼幹事● 土木学会海洋開発委員会論文査読小委員会委員 |
|------|---|

教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

| | |
|------------|---------|
| 総合工学システム学科 | 系・コース |
| | エネルギー機械 |
| 職階 | 氏名 |
| 准教授 | 大谷壮介 |

| 項目 | 取組状況 |
|------|---|
| 教 育 | <p>令和4年度担当科目</p> <p>水循環工学Ⅰ(3C)、水循環工学Ⅱ(4C)、水・土質環境実験(4C)、環境衛生工学(5C)、水環境工学(専攻科2年)、基礎研究(4C)、卒業研究(5C)、工学特別ゼミナールⅡ(専攻科2年)、工学特別研究(専攻科2年)</p> <p>担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <p>講義科目では单元ごとに小テストを実施して、授業の復習を行うようにした。授業中に学生を指名して答えていく形式にして、緊張感を持って自分の言葉で発表するように促した。</p> |
| 研 究 | <p>学術論文執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大谷壮介, 上村健太, 徳田邦洋, 藤嶋康平, 東和之, 上月康則(2022): 大阪湾の都市沿岸部の干潟における水面・堆積物の二酸化炭素フラックス, 土木学会論文集 B3-78 (海洋開発), Vol. 78, No. 2, pp. L847-L852. ● 東和之, 大田直友, 大谷壮介, 橋本温(2022): 人工海浜で行われた順応的管理が対象種以外の底生生物に与える影響の一考察, 土木学会論文集 B3-78 (海洋開発), Vol. 78, No. 2, pp. L673-L678. |
| 社会貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪府河川および港湾の底質浄化審議会専門委員 ● 国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所神戸港における生物共生方検討会兵庫運河ワーキンググループ委員 ● 生態系工学研究会, 幹事長 ● 土木学会海洋開発委員会論文査読小委員会委員 ● 土木学会海岸工学委員会沿岸域における気候変動適応策に関する研究会(気候変動研究会)委員兼幹事 |

教育・研究などへの取組状況(令和3年度)

| | |
|------------|-------|
| 総合工学システム学科 | 系・コース |
| | 都市環境 |
| 職階 | 氏名 |
| 准教授 | 大谷壮介 |

| 項目 | 取組状況 |
|-----|---|
| 教 育 | <p>令和3年度担当科目</p> <p>水循環工学Ⅰ(3C)、水循環工学Ⅱ(4C)、水・土質環境実験(4C)、環境衛生工学(5C)、水環境工学(専攻科2年)、基礎研究(4C)、卒業研究(5C)、工学特別ゼミナールⅠ(専攻科1年)、工学基礎研究(専攻科1年)</p> <p>担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <p>講義科目では单元ごとに小テストを実施して、授業の復習を行うようにした。授業中に学生を指名して答えていく形式にして、緊張感を持って自分の言葉で発表するように促した。</p> |
| 研 究 | <p>学術論文執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大谷壮介, 上月康則, 藤嶋康平, 田中駿佑, 湯浅翔太, 中井喬也, 山中亮一: 過栄養域の尼崎運河における浮遊生態系の炭素フローの特性, 土木学会論文集 B2-77 (海岸工学), Vol. 77, No. 2, pp. L877-L882, 2021. ● 大谷壮介, 三好順也, 吉村直孝, 日下部敬之, 上月康則: 大阪湾の栄養塩低下と直立構造物の潮間帯付着生物の分布変化, 土木学会論文集 B2-77 (海岸工学), Vol. 77, No. 1, pp. 65-73, 2021. ● Tomonari Okada, Yugo Mito, Yoshihiro B Akiyama, Kanae Tokunaga, Hiroaki Sugino, Takahiro Kubo, Toru Endo, Sosuke Otani, Susumu Yamochi, Yasunori Kozuki, Takayuki Kusakabe, Koji Otsuka, Ryoichi Yamanaka, Takaaki Shigematsu, Tomohiro Kuwae: A comparative method for evaluating ecosystem services from the viewpoint of public works, Coastal Ocean Management, 212, 105848, 2021. ● Sosuke Otani, Ryoichi Yamanaka, Yasunori Kozuki, Kohei Fujishima, Masayuki Hirata: Spatial and temporal distribution of carbon dioxide flux in the Amagasaki Canal, Japan. Coastal Engineering Journal, 63(3), 422-432, 2021. |

| | |
|------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ● Tomonari Okada, Yugo Mito, Yoshihiro B Akiyama, Kanae Tokunaga, Hiroaki Sugino, Takahiro Kubo, Toru Endo, Sosuke Otani, Susumu Yamochi, Yasunori Kozuki, Takayuki Kusakabe, Koji Otsuka, Ryoichi Yamanaka, Takaaki Shigematsu, Tomohiro Kuwae: Green port structures and their ecosystem services in highly urbanized Japanese bays, Coastal Engineering Journal, 63(3), 310-322, 2021. ● Wataru Nishijima, Akira Umehara, Keigo Yamamoto, Satoshi Asaoka, Naoki Fujii, Sosuke Otani, Feng Wang, Tetsuji Okuda, Satoshi Nakai: Temporal distribution of primary and secondary production estimated using water qualities in the Seto Inland Sea, Japan., Ecological Indicator, 124, 107405, 2021 |
| 社会貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪府河川および港湾の底質浄化審議会専門委員 ● 国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所 神戸港における生物共生方検討会兵庫運河ワーキンググループ委員 ● 生態系工学研究会, 幹事長 ● 土木学会海洋開発委員会論文査読小委員会委員 ● 土木学会海岸工学委員会沿岸域における気候変動適応策に関する研究会（気候変動研究会）委員兼幹事 |